

第3回大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想検討

委員会会議

議事録

(令和7年1月23日)

第3回大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想検討委員会会議を令和7年1月23日（木）市役所4階情報会議室において開催した。

次第は、次のとおりである。

1 議題

- (1) 大垣西 I C 周辺土地利用構想（案）について
- (2) 道の駅整備構想案に対する意見への回答について

委員の出欠状況は次のとおりである。

出席（6名）

車戸 慎夫	高木 朗義	竹内 治彦
木村 幸雄	齋藤 常正	宇佐美 新晶

オブザーバーの出欠状況は次のとおりである。

出席（1名）

加納 敏彦

欠席（1名）

富田 直樹

市の出席者は次のとおりである。

企画部長	高木 俊介	都市計画部長	河瀬 良康
地域創生戦略課長	藤埴 達也	都市計画課長	清水 克人
都市計画課長	佐竹 一仁	都市計画課	伊藤 孝弘
都市計画課	廣島 功二	都市計画課	矢田 佳大
都市計画課	角 夏希		

(開始時刻 9時30分)	
事務局	1 開会 ※出欠者の確認
	2 あいさつ ※部長あいさつ（略）
事務局	・ それでは、要綱の規定により、ここからの議事の進行は、■■■■委員長様をお願いしたいと存じます。 ・ ■■■■委員長、よろしくお願いいたします。
委員長	3 議題 ・ それでは、議事を進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。 ・ 議事の円滑な進行に、皆様方のご協力をお願いいたします。 ・ なお、本日は、■■■■町の■■■■様ほか、1名の方から傍聴の申し出がございましたので、ここで、お入りいただきたいと思います。 ・ 議題に入る前に、本日の議事録署名者につきましては、■■■■委員と、■■■■委員をお願いしたいと思います。 ・ よろしくお願いいたします。
	(1) 大垣西 I C 周辺土地利用構想（案）について
委員長	・ それでは、議題(1)「大垣西 I C 周辺土地利用構想（案）について」の説明を事務局よりお願いします。
事務局	・ それでは、議題(1)「大垣西 I C 周辺土地利用構想（案）について」のご説明をさせていただきます。 ・ 前方のスクリーンをご覧ください。 ・ はじめに、前回の会議後、委員の皆さま方から頂戴した意見書に対する回答について、今後の土地利用に関するものからご説明させていただきます。 ・ 資料は、お手元の資料No.1-1でございます。 ・ 回答を行うにあたって、改めて、前提の説明となりますが、今年度、私共が最終目標とするところは、皆さま方とご意見を交わしブラッシュ

事務局	アップした土地利用構想を公表し、市として道の駅を核とした土地利用を進めていくという方針を対外的に示すところにございます。 ・今年度構想を策定し終えたら、来年度から本格的に、具体的な道の駅等の位置・規模・機能の検討に入ります。 ・そのため、現在いただいている各種施設や機能に関するご意見につきましては、構想を具体化する段階での検討項目となり、大変申し訳ございませんが、現時点では、今後検討するという回答となります。 ・しかしながら、1回目から今回までにいただきました各種施設や機能に関するご意見については、全てまとめて、来年度具体的に検討する際に活用させていただきますので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。 ・それでは、ご意見に対する回答をご説明いたします。 ・一つ目ですが、西濃地域を中心とした防災・減災拠点としての施設整備が必要。というご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、構想（案）において、防災・再エネ機能を重要な役割を果たす機能として設定しており、地域のための防災拠点について整備を進める方針としています。 ・次に、鉄道駅からのアクセス性を高めるため、シャトルバスの導入を検討してみてはどうかといった趣旨のご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、様々な交通モードに対応することは必要であると考えているため、鉄道からのアクセスも考慮に入れた土地利用を検討してまいります。 ・次に、大型観光バスの立ち寄りに優位な施設整備が必要といった趣旨のご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、令和5年度バス事業者ニーズ調査から、トイレ休憩や飲食ができる施設の整備は有効であると考えられるため、具体的な施設整備計画の段階で検討してまいります。 ・次に、子どもから大人まで幅広い年代の方々に楽しんでもいただける、大垣らしさを持ちながらも機能性が備わった遊具があれば良い。というご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、多世代・多様性等に配慮したインクルーシブな遊具の設置や、大垣らしく目を引くようなシンボリックな施設についても具体的な施設整備計画の段階で検討してまいります。
-----	--

事務局	・次に、観光機能のひとつとして、宿泊施設は有効といった趣旨のご意見をいただきました。 ・こちらに関しましては、滞在型観光の観点から宿泊施設は有効であると考えているため、具体的な施設整備計画の段階で検討してまいります。 ・続きまして、大垣西 I C 周辺土地利用構想（案）の修正についてご説明させていただきます。 ・資料No.1-1でいただいた、土地利用構想の修正に関するご意見につきましても、資料No.1-2に含めるかたちでご説明させていただきます。 ・資料No.1-2にて説明をさせていただきます。 ・前回の会議までにいただいたご意見や市関係課との協議において、土地利用構想（案）を修正したため、その主な変更点についてご説明させていただきます。 ・1ページをご覧ください。 ・背景と目的について、記載を修正しました。 ・J R 荒尾駅に関する記載を追記したほか、本地区の交通量の増大に係のある、国道21号岐大バイパス整備事業に関することに言及する修正を行いました。 ・続きまして、2ページをご覧ください。 ・インバウンド需要の増大を考慮して、大垣の歴史・文化に関する写真を加えて掲載してはいかがか。というご意見を取り入れました。 ・続きまして、3ページをご覧ください。 ・リニア中央新幹線開通により形成されるスーパー・メガリージョンに関して追記してはどうかという意見を踏まえ修正しました。 ・続きまして、4ページをご覧ください。 ・図中に、J R 美濃赤坂駅、養老鉄道北大垣駅、路線バス荒崎線のルートを追記いたしました。 ・続きまして、5ページをご覧ください。 ・次に、付近に荒尾駅があるため、魅力的な施設が建設されれば、鉄道利用者の増大も期待できると考える。というご意見を踏まえ、交通結節点として、J R 荒尾駅を追記いたしました。
-----	--

事務局

- ・また、水の都のフレーズだけでは、魅力が伝わらないため、美しい水、おいしい水と表現してはいかがか。というご意見を踏まえ、濃尾平野の特性として、豊富な地下水という表記から豊富で良質な地下水に修正しました。
- ・続きまして、6ページをご覧ください。
- ・次に、課題に対してどういった強みを生かしていくかということを表すのであれば、強みの項目は一番下に来るべきでは。というご意見を踏まえ、順番を入れ替えました。
- ・また、土地利用の可能性につきましては、皆さまからのご意見や関係課等との調整を踏まえ少し修正を加えています。
- ・こちらは、あくまでも可能性として表しており、方針として示しているわけではございませんのでご承知おきください。
- ・P. 26～30に関しましても、同様の修正を行っています。
- ・続きまして、7ページをご覧ください。
- ・地図に記載されていた情報が多く見えづらかったため、修正いたしました。
- ・続きまして、8ページをご覧ください。
- ・広域的にみた道の駅の適地性について追記しました。
- ・続きまして、9ページをご覧ください。
- ・この構想は、地域のためか、西美濃のためか、国のためなのか、誰の価値を高めるためのものなのかが分かりづらい。といったご意見をいただきました。
- ・土地利用ゾーンにおいては、対象を明確化し、大垣市西美濃全国に3分類し、それぞれに対しどのような価値を高めるのかを明記しました。
- ・続きまして、10ページをご覧ください。
- ・土地利用の方針1、道の駅を定義するは、他の方針と比べて、まちづくりに対しての方針ではなく、施設整備の方針のようにみえるというご意見をいただき、道の駅を核とした地域価値の向上という表記に変更いたしました。
- ・続きまして、11ページをご覧ください。
- ・土地利用構想の検討体制について追記することとし、当委員会で議論

事務局	した内容や、委員の皆さま方の役職やお名前について記載させていただきました。 ・続きまして、パブリック・コメントの結果概要についてご説明させていただきます。 ・前方のスクリーンをご覧ください。 ・パブリック・コメントは、令和6年12月16日から令和7年1月15日までの1か月間実施いたしました。 ・その結果、32名の方から20件のご賛同と12件のご意見をいただきました。 ・コメントでは、新たな土地利用を図っていくことについて様々な意見が寄せられましたが、土地利用構想の方向性に関して、修正を求めるものではなく、本日ご報告させていただいた構想案からの修正などはありません。 ・皆さま方からいただきましたご意見やパブリック・コメントを経て、最終的な案を資料No.1-3としてお配りさせていただいております。 ・この内容において、3月議会で報告し、令和7年4月に公表する予定でございます。 ・以上が、「大垣西 I C 周辺土地利用構想（案）について」の説明でございます。よろしくお願いいたします。
委員長	・ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問がございましたら、ご発言願います。 ・いかがでしょうか。
委 員	・少し細かいことで2点ほど意見を述べさせていただきます。 ・災害時にはやはり電気をしっかりと確保することが重要だと思うので、周辺の地域で大規模停電になった時にも、電源が確保できるような機能が必要だと思います。 ・例えば、大規模な蓄電池を設置し、停電があった場合でも、電力供給ができるような体制であると良いと思います。 ・もう一つは、現在岐阜県全体で木育が進められていて、大垣市でも上石津を中心に進められていると思いますが、できるだけ県産材を使っていくことが大切で、施設整備に向けてそういう方向性があると良いと思っています。 ・飛騨と東濃には新しく木遊館が建てられていますが、子どもたちが木に触れて遊べるような施設整備ができると良いと思います。

委 員	・最近、夏が非常に暑くて子どもたちが外で遊ぶことがなかなか難しい状況の中、屋内で遊ぶことが増えてきており、屋内で気軽に遊べる施設が人気を集めています。 ・高山や中津川にありますので、そういうものを参考にさせていただきたいと思います。 ・また、公園と木育の一体的な活用について、今、各務原市の学びの森にあるパークブリッジは大変人気があって、子どもたちで賑わっています。 ・そういったものをイメージしながら、県産材の利用を視野に入れ、子どもたちが木に触れて遊べる施設があると良いと思います。
委員長	・ありがとうございます。 ・ただ今の意見について事務局は、いかがでしょうか。
事務局	・貴重なご意見ありがとうございます。 ・来年度以降、道の駅整備検討委員会を立ち上げ、具体的な施設検討について取り組んでいく予定でございます。 ・ただ今のご意見につきましては、道の駅整備検討委員会で参考にさせていただきます、計画を進めたいと考えております。 ・よろしくお願いいたします。
委員長	・ありがとうございます。 ・木育ですね、木とともに子どもが育っていくということですので、それも検討に取り入れていただいてまとめていただければと思います。 ・一方で、蓄電池というのはかなり普及してきているんですか。
委 員	・大規模なものが少しずつ出てきている状況ですね。 ・太陽光だけですと、夜に電気を使いたいときに、貯めておかないと使えないので、そういう意味で蓄電池は必要で、県でも補助制度を設けて家庭用蓄電池の促進をしていたりするので、だんだんと普及していく方向に向かっていると思います。
委員長	・エネルギーの地産地消も今後出てくると予想されますので、ぜひ、そういったものも検討に入れていただきたいと思います。 ・その他にいかがでしょうか。 ・自治会長の皆様は、いかがでしょうか。

委 員	・先ほど木育というご提案があったわけですが、大垣市では、例えば、スイトピアセンターにサイエンスプラザや水のパビリオンがあります。 ・そこに孫たちを連れていくんですが、物足りなさを感じます。 ・ところが、名古屋市科学館へ孫たちを連れていくと、見たり、体験したりできるものがたくさんあって、帰るよと言っても帰ろうとしない。 ・大垣にも子どもたちの知的な好奇心を満たすような施設が欲しいと常々思うわけです。 ・もともと大垣は多くの学者を輩出している地でもあることから、それに見合った施設があっても良いと思います。 ・子どもたちの知的な好奇心を育む施設を期待します。
委員長	・ありがとうございます。 ・今日は企画部の方もお見えですので、ご検討のほど、よろしくお願いいたします。 ・ 委員は、いかがでしょうか。
委 員	・資料No.1-2新旧対照表の7ページのところで、国道21号沿線に道の駅が無いから必要ですというところで、道の駅を必要とみせるために、存在している道の駅を消してしまっていますが、道の駅が多いということは、周知の事実なので、他の道の駅は記載しておいた方が良いと思います。 ・道の駅はたくさんあるけれども、肝心の交通量が多い国道21号沿線に無いというような文章にいただいた方が良いと思います。 ・それと、意見書の中で宿泊施設についてご意見がありましたが、これはひょっとしたら可能性があるかなと思いました。 ・大垣に用事がある人ではなく、通過する人にとって有効ではないかと思います。 ・ちょっと前に、もう少し西の地域で、簡易的な宿泊施設を運営されている方のお話を伺いました。 ・そこも観光で売っている場所ではあるんですが、観光目的で宿泊する人は半分もいなくて、関西方面や福井方面へ向かわれる方が、途中の宿泊場所として使っていることが多いとのことでした。 ・I C近くに宿泊施設があると、そういう形で宿泊される方が少なからずいるようです。

委 員	・また、アメリカ系の大手企業が道の駅と機能分担をするような形で宿泊施設を運営していて、岐阜県にも何か所かあるようです。 ・道の駅に温泉施設やレストランがあるので、バスルームをコンパクトにしたり、朝食サービスを無くしたりするなどして、道の駅との併用を踏まえたサービスを提供しているようです。 ・ある程度需要があるようなので、そういう施設にお声がけしたら興味を示される可能性はあるのかなと思います。 ・長期的にそれがどれぐらいビジネスモデルとして成り立つかは調べられた方が良いでしょうと思いますが、お金を使うばかりで施設を構えて、収入が入ってこないと困ります。 ・交通の結節点として、好条件な立地なので、たくさん車は通るであろうと思います。 ・その中で、大垣に来られる方ではないけれど、泊まって食事もしていただいて、ある程度の需要があれば経済的な効果につながると思うので、良いと思いました。
委員長	・ありがとうございました。 ・構想の修正について事務局はどうお考えでしょうか。
事務局	・32ページの修正に関しましては、 委員がおっしゃったとおりでございます。 ・周辺に道の駅がたくさんございますが、国道21号沿線でみたときに可児市の可児ッテしかないということが分かりにくいという意見が内部でありましたので、それに伴い修正しました。 ・今の 委員のご発言も踏まえて、修正させていただきたいと思います。 ・宿泊施設につきましても、どの程度の収益性が見込めるかというところで、規模感を検討する必要があると思っており、今後実施する道の駅整備検討委員会の中で詳細を検討してまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。
委員長	・旅行者の利用がある一方、昨今、トラック運転手の働き方改革が叫ばれており、トラックの中継地としての利用も考えられます。 ・ただ、大垣の場合、どことどこの中継地になるのかは分かりませんが、中継地としての場になるようなことも計画してみてはいかがでしょうか。

委員長	・土地利用構想については、この内容で議会に説明するという事です ね。
事務局	・この委員会の開催と並行いたしまして、12月議会で素案をご報告させて いただいております。 ・パブリック・コメント及び当委員会でのご意見を踏まえた土地利用構 想を3月議会でご報告させていただく予定です。
委員長	・ありがとうございました。 ・他にご意見ございませんか。
委 員	・道の駅を作ることは、大変良いことだと思いますが、東海環状自動車 道の利用者をいかに取り込めるかが大切だと思います。 ・昔の話ですが、関ヶ原町の国道21号沿いのドライブインにトラックが 1日に何十台も来て、運転手が食事しているのを見たことがありまし たが、高速道路ができたために、ばたっと利用者が減ってしまいまし た。 ・国道21号の利用者はもちろん大切ですが、高速道路を利用する人がい かに利用してくれるかを考えなければならないと思います。 ・また、昨年末に福井の防災センターへ視察に行ってきました。 ・たくさんの人が見学に来たり、地震の体験をやってみえたりしていま した。 ・防災センターについて、この計画にも書いてありますが、西濃地区の 拠点になるような防災センターの設置が大切だと思っており、地元と しては強く要望しています。
委員長	・ありがとうございます。 ・今後の施設計画等で防災センターの機能等をご検討いただけると思い ますが、道の駅についてはこのあとご説明があると思いますので、そ の時に今のご意見にお答えいただければと思います。 ・他にいかがでしょうか。 ・もしなければ、土地利用構想（案）における議題については終了とさ せていただきます。 ・ご意見いただきまして、ありがとうございました。

委員長 事務局 部 長 委員長 事務局	(2) 道の駅整備構想案に対する意見への回答について ・ それでは、議題の(2)、「道の駅整備構想案に対する意見への回答について」に移りたいと思います。 ・ なお、冒頭でもお話ししたとおり、この議案につきましては、大垣市情報公開条例第6条に規定する非公開情報が含まれますので、傍聴者の方、報道機関の方は、恐れ入れますが、ここでご退席くださいますよう、お願いいたします。 ※非公開のため略 ・ [REDACTED]委員長様、誠にありがとうございました。 ・ それでは、最後に、都市計画部長から、お礼の挨拶を申し上げます。 ※部長あいさつ（略） ・ 各委員の貴重な意見をぜひ反映していただき良いものを作ってくださいたいと思います。よろしくお願いします。 ・ ありがとうございました。 ・ ありがとうございました。 ・ 皆様方におかれましては、長時間にわたり、大変お疲れ様でございました。 ・ これをもちまして、第3回会議を終了させていただきます。 ・ お気をつけてお帰りくださいませ。 ・ 本日は、誠にありがとうございました。 (終了時刻 11 : 04)
--	--